

ミヤマ精工のリスクアセスメント ～リスクゼロ職場を目指して～

ミヤマ精工(株)

山本裕嗣*

ミヤマ精工について

当社は、愛知県知立市に本社において、自動車や電気・電子製品に必要な精密金属部品を製造している。1957年に創業し、1990年代までは自動車のキャブレターを構成する部品生産に携わり、トランスファプレスによる深絞り加工を中心に技術の蓄積をしてきた。その後、自動車部品の電子制御化の流れを受けて、高度な機能部品に要求さ

れる精度実現に取り組み、順送型による電子部品、冷間鍛造およびその2次加工としての切削、と技術領域の幅を広げてきた。また、二次電池（ニッケル水素電池、リチウムイオン電池など）の部品の製法開発を通じてグループ企業で特許も取得している。現在では、豊田市にも生産拠点をもち、タイ国のチョンブリ県に工場建設中（2014年8月末完成予定）である。固有技術の蓄積に重きを置いて、工程設計、金型設計製作、試作、量産を社内で一貫して行っている（写真1、2）

*（やまもと ゆうじ）：取締役社長
TEL：0566-83-0232 FAX：0566-83-0236

会社概要

所在地：〒472-0021 愛知県知立市逢妻町金山16-1
設立：1969年12月（1957年10月創業）
売上高：44億5,700万円（2014年5月期）
従業員数：236人
事業内容：自動車向け、電気・電子向け精密深絞り、冷間鍛造部品の製造

リスクアセスメント(RA)の進め方

本題を進めるにあたり、リスクアセスメント（以下RA）の概略に触れる。

RAとは、労働者の就業に係る危険性または有害性（ハザード）を特定し、それに対する未然防止措置を検討する一連の流れである。事業者はRAの結果に基づき、リスク低減措置を実施するように努めなければならない。これが労働安全衛

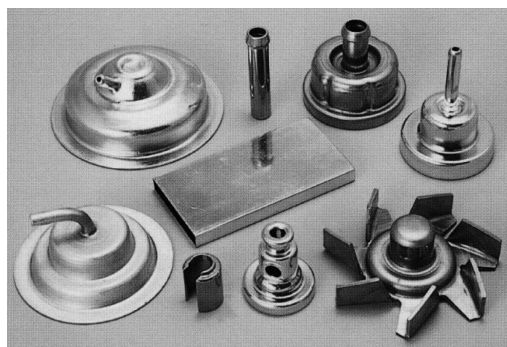


写真1 深絞りによる製品

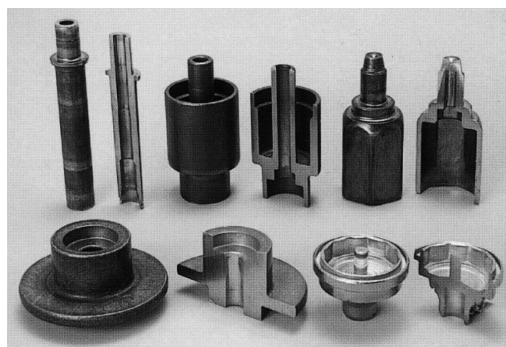


写真2 冷間鍛造による製品